

社会教育編：f

テーマ 「コミュニケーションのスキルアップ」

タイトル 「会話はモ・バ・ジョ（目的・場所・状況）を意識して」

【学習資料】




【学習のポイント】

○コミュニケーションに必要なことを理解することで、意思疎通がうまくできないことが起きても対応できたり問題解決に関わって橋渡しできたりする力の向上を図る。

【すすめ方】 70分用 ※時間の（赤字）は90分用

流れ	分	主な活動	主な発問等	留意点
導入	4	1 活動のねらい、話合いのルールを確認する。	■「まじめなおしゃべり」によって「テーマ」について理解を深める活動です。	◆おしゃべりのルール（参加・尊重・守秘）を確認する。 ◆グループの人数は1グループ4～5人とする。
	6	2 アイスブレイク 「あの人に、こんなことを聞いてみたい！」	■もしおしゃべりできるなら…おしゃべりしたい有名人をあげ、どんなおしゃべりをしたいか、紹介しましょう。	

<p>展開1</p>	<p>5</p>	<p>3 ロールプレイをする。</p> 	<p>■これからロールプレイをしてもらいます。A・B2つの質問を用意していますので、質問Aをする役、質問Aに回答する役、質問Bをする役、質問Bに回答する役を決めましょう。</p> <p>■会話は写真のような場所で行われているものとしてします。</p>	<p>◆役割を決めている間に、質問A・Bが書かれたカード及び写真を各グループに配布する。(質問が見えないように)</p> <p>◆写真は季節に合わせて変えて良い。</p>
		<p>質問A 「梨の花が咲きましたね」(うれしそうな表情・口調で)</p> <p>質問B 「梨の花が咲きましたね」(けわしそうな表情・口調で)</p>		
	<p>5</p>	<p>4 グループで感想を出し合い、会話がどのようにして成り立つのかを考える(確認する)。</p>	<p>■質問者の人は質問を見てください。質問に対して回答役が回答して、続けられるようならばなるべく会話を続けましょう。質問Aから始め、終わったら質問Bに入りましょう。会話していない人は会話のやりとりを観察しましょう。</p> <p>■これから感想を出し合ってもらいます。その際、会話がどうして成り立ったのか、あるいはどうして成り立たなかったのかについても話し合ってみましょう。</p>	
	<p>10</p>	<p>5 全体でシェアする。</p>	<p>■どうして会話が成り立ったのか、あるいは成り立たなかったのか、グループで出てきたことを少し聞かせてください。</p>	<p>◆出てきた言葉(キーワード)を書き込み、「目的」「場所」「状況」と書かれたカードを掲示し関係付けながら、コミュニケーションの成立要件を確認する。</p>
<p>展開2</p>	<p>8</p>	<p>6 チャットのやりとりから感じたことやA～Dの気持ちを話し合う。</p>	<p>■しばらくチャットでの会話を見てください。不確かな状況があっても好きに想像して構いません。</p> <p>■感じたことや会話中のA～Dの気持ちについてグ</p>	<p>◆模造紙を配布する。</p> <p>◆しばらく個人で考える時間を確保する。(3分程度)</p> <p>◆人によって受取りが異なり混乱することは想定内とする。</p>

		<p>ループで出し合いましたよ。</p> <p>■この後、この会話、あるいは人間関係はどうなっていくのでしょうか。</p> <p>■このやりとりは実際に起こった子ども同士のトラブル（Dが仲間はずれにあう）をもとにしてつくったもの（フィクション）です。</p>	<p>◆追加で質問する。</p> <p>◆○○はテレビ番組、写真はとりぴーのぬいぐるみ</p> <p>◆気持ちについては、思いっくまみに書き込んでもらう。</p>
	12	7 チャットの状況を理解し、再度A～Dの気持ちを考える。	<p>■改めてA～Dのそれぞれの気持ちを①～④の発言に応じて（時系列で）考え、模造紙にA～Dの誰の言動なのかわかるようにして黒のペンで書き込みましょう。</p>
	12	8 問題解決の方策を考える。	<p>◆これも誰の言動なのかわかるように書き込んでもらう。</p>
	8	9 ギャラリーウォーク（他のグループを見て回る）	<p>■トラブルに発展しないようにするために、この後の言動について考え、話し合われたことを模造紙の余白に赤のペンで書き込みましょう。</p>
	8	10 ギャラリーウォークを経て、再度、気づきや考えたことをグループで話し合う。	<p>■他のグループの意見を見て回り、「なるほど」「参考になった」というものにシールを貼りましょう。</p> <p>■このトラブルは子どもだから起こったことでしょうか。</p> <p>◆シール（1人3～5枚）を配布する。</p> <p>◆子どもだけの問題ではないことを確認したい。</p>
まとめ	4	10 ギャラリーウォークを経て、再度、気づきや考えたことをグループで話し合う。	<p>■本日の活動を通して、気づいたことや考えたことをグループで話し合いましたよ。</p>
	10	11 10を全体でシェアする。	<p>◆時間がある時の活動。さらに各グループに一言ずつコメントをもらっても良い。</p>
	4	12 ファシリテーターによるまとめを聞く。	<p>■本日の気づきや考えたことから「子どもに伝えたいこと」あるいは「今日から出来そうなこと」をグループで1つ模造紙の余白あるいは裏に青のペンで大きく書き込みましょう。皆さんが見えるように掲げてください。</p> <p>◆出来れば活動で出てきた意見や言葉を利用しながら。</p>

- 会話に必要な「モ・バ・ジョ（目的・場所・状況）」、特に「表情」や「口調」「イントネーション」などがわかりづらいSNSではトラブルが発生しやすい。一方で、SNSを利用しなければいいという時代ではない。誤解が生じやすいということを理解した上での利用（発信の仕方）、時には冷静さ（客観的視点）を持った第三者として架け橋となること（展開3のBやCの役割）も必要です。
- SNSでのトラブルの多くは日常の人間関係の延長線上にあります。つまり、良好な人間関係を日常で築くこと、日常のトラブルをどう解決していくか、デジタル空間や仮想空間より現実空間がいかに楽しいかを体現することが大切です。

2 13 感想（アンケート）を書く。

【模造紙】

